

1) 一般社団法人「かながわヘリテージ」への移行

前号でお伝えしたように、「かながわヘリテージマネージャー協会」は「一般社団法人かながわヘリテージ」に移行することになりました。すでに4月3日付で、「一般社団法人かながわヘリテージ」を設立し、4月23日に横浜地方法務局に登記を完了しました。つきましては6月21日（土）午後に設立記念総会を行う予定です。昨年と同じ横浜市開港記念会館で行いますので、どうぞご予定ください。

■法人化説明会を行いました 3/10

横浜市開港記念会館にて会員の皆さんへ法人化の説明会を行いました。当日は平日夜であるため、Zoomでのオンライン会議との併用としました。会場には14名、Zoomで6名の方が参加されました。役員会から法人化の概要を説明し、会員の皆さんとの以下の質疑応答がありました。



1) 法人化による会員へのメリットは？

→ 予め2/24にお送りした「かながわヘリテージマネージャー協会の法人化について」に記載の通り、「社会的な信頼性を得て活動範囲を質的に拡大する」こと、またそれにより「活動に対する公的支援や協力を得やすくする」ことです。

2) 今後期待できる業務依頼に対する個人事業との区分が明確になっているか？

→ 今まで明文化されたものが無いので、今後増加することが期待される業務依頼におけるルールについて、役員会で検討し文書を作成することとします。

2) スキルアップ講座

■実測調査演習 国登録有形文化財 宮下邸 4/19

今回の実測調査演習は昭和8年築、近代和風洋館付き住宅（木造2階建て、和館平屋、洋館2階建て）宮下家住宅にて参加者15名と講師4名で行われました。先ず保存改修工事を担当した講師の越智英夫さんから、保存改修工事に至った経緯と工事内容について詳しく説明をしていただきました。その後、2階和室、1階板の間と廊下、1階和室、縁側と3つの班に分かれて平面図と矩計図を作成しました。所有者様のご厚意により貴重な文化財である住宅を実習の場としてご提供いただき、とても有意義なものになりました。



※宮下家住宅の詳細について
文化遺産オンラインHP
<https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/566861>

■横浜の洋館付き住宅を巡るまちあるき 2/23

「横浜市域の歴史的建物を知る」シリーズ・保土ヶ谷まち歩き。
晴天に恵まれた冬空の中、JR保土ヶ谷駅を出発し、まずは旧東海道保土ヶ谷宿沿道に残る商家や大正期の洋風建物を見学。保土ヶ谷オープンヘリテージも同時開催で歴史的建造物公開まち歩き用の看板も展示されており、学びが深まりました。保土ヶ谷名物(?)心臓破りの坂道を登り、街中に点在する洋館付き住宅を巡りました。「横浜の洋館付き住宅100選」の中、半数以上はもう現存しないとのこと。保土ヶ谷でも洋館付き住宅を巡るには沢山歩かないと見られない。だからあるうちに見ておかないと。そして歴史的価値のある建物だと広め伝えたいとの思いを強くしました。後半は、保土ヶ谷カトリック教会、大仙寺など、見所満載の6km・10,000歩のまち歩きでした。
マップ通りのルートではなく、魅力的な建物が多い道を選んで歩き、特徴的な瓦や門を見つけては解説を聞き、つい写真を撮る事に夢中になる私達は、講師より「実物を見て自分の目を養うことの大切さ」を教わりました。



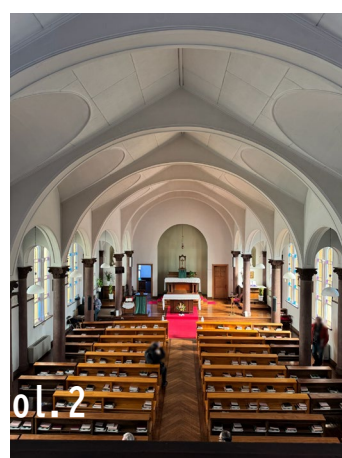
旅籠 本金子屋跡



坂道を頑張って歩く



洋館付き住宅を見学



保土ヶ谷カトリック教会



大仙寺（本堂・山門）

■見学会 隣花苑 4/26

旧西郷家住宅 田舎家「隣花苑」見学会。
三溪園に隣接した実業家、近代茶人の原三溪監修の旧西郷家住宅・田舎家造りの元料亭「隣花苑」として所有者様から今日まで大切に維持されてきました。今回はその名建築を見学させて頂く貴重な機会でした。（田舎家造り：近代茶人が形式に捉われない茶会のためにあえて古民家を移築し好みに改修した住宅）

約600～700年前の古民家を移築した「主屋」と共に、江戸時代の書院造りを移築した「離れ」と、数寄屋造りの増築部を加え、昭和5年に完成した建物で、室町時代と江戸期と昭和初期と、建築時期ごとに特徴があり、それを一つの建物で味わうことができました。現代の「解体＝壊すこと」と違い「解きほぐし＝移築・再使用」という日本古来のやり方は解体材の再使用率も高く、今こうして現代でもその姿を現存できる、先人の知恵を素晴らしく思いました。

主屋の6～700年前の古い手斧掛け痕のある軸組材に囲まれた空間で、茶室まで客人を招いた動線を辿る。美しい庭を愛でるため一本引きの硝子戸は全開となり全て左右の戸袋へ引き込まれる。離れ側の廊下を硝子戸が横断するけど鴨居は無く、手動で送り込む仕様には「エアー鴨居だね」と命名して、当時の暮らしに想いを馳せました。



3) KHM養成講座 第2期

2/15

■ 演習5「わたしが見つけた歴史的建造物」の発表日！

24名の受講生全員が県内の歴史的建造物3件を探し発表それぞれ自分の目と足を使い選定した建物の特徴、構造規模、建築年代などをできる限りの調査をして備えました。皆さん、持ち時間3分を充分使い切り、調査して見つけた建物に対する選定理由や知見を言語化。みごとに披露してくれました。先生からは、いつもの様に丁寧に詳しいポイントをついたご講評を頂き、テーマにふさわしい熱心な質疑応答も展開されました。

後半は、歴史的建造物に関連する諸動向についての講義。神奈川県内の文化財指定・登録状況、近年の文化財や歴史的建造物を巡る動き、近代和洋建築調査・歴史的建造物の保存活用、登録有形文化財の修理などなど、写真を交えて詳しく解説されました。事例として、数年前吉田剛市先生や水沼先生などの解説で『関内まち歩き』の様子もあげられ懐かしく聞きました。水沼先生、ありがとうございました！

講師：関東学院大学名誉教授：水沼淑子先生
場所：関東学院関内キャンパス4階会議室



役員会議事の概要

奇数月に定例役員会を開催、2/13、5/13に臨時役員会を開催しました

役員会では、新法人への移行手続きについて検討する一方で、従来通り地域プロジェクトや新たな相談への対応等を議論しました。6月の移行後は会議名称を「リーダー会」に変更し継続する予定です。

- 1/14
 - ・登録申請支援をしたプロジェクトの成果品を、会員にも共有することを決めた。
 - ・実測調査演習のスキルアップ講座を新たにチームを作った。
 - ・見学会等の情報をFBやNEWS LETTERで発信する際には、必ず事前にイベント主催のリーダーを通じて所有者や関係者の記事確認を行うことを再確認した。
 - ・会計担当を大平さんをお願いすることを承認した。次年度よりお願いする。
- 2/13(臨時役員会)
 - ・一般社団法人申請の手続きと会員への周知、設立後の役員会など会議体について承認。
- 3/11
 - ・法人化説明会の振り返り。業務依頼に対する個人事業との区分の明確化を次年度検討する。
 - ・定期総会の日程、会場決定。
 - ・養成講座 実施状況の共有。前半Eラーニング、演習5まで全員修了。
 - ・会員向けアンケート調査の実施を承認。
 - ・各地域での会員との懇親会を行うことにした。地域リーダー主催で役員会が参加。第1回は県央地域を予定。
 - ・今回がKHM協会としての最終役員会。移行後は「リーダー会」として継続することを承認。
- 5/13 (臨時役員会)
 - ・定期総会の開催要綱、議案作成、総会準備などの役割分担。

一般社団法人かながわヘリテージ

HP kanagawa-heritage.org
E-mail k-hm@kanagawa-heritage.org
横浜市中区吉田町10番地都南ビル401
(株) 山手総合計画研究所内

ヘリテージマネージャー養成講座の修了生等により平成28年に設立された団体で、神奈川県内の歴史的建造物の保全活用を目指して活動しています。
ヘリテージマネージャーとは、地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保存し、活用して、地域づくりに活かす能力を持った人材のことです。